### outputjson

特定フィールドの値をJSON形式で出力します。各JSONレコードは改行で区切られます。

#### 構文

outputjson [OPTIONS] FILE\_PATH [FIELD, ...]

必須パラメータ

**FILE\_PATH**

JSONファイルとして出力するパス

オプションパラメータ

**append=BOOL**

FILE\_PATHに既存ファイルがある場合の追記制御オプション（デフォルト: f）

1. t: 指定したFILE\_PATHの末尾にデータを追記します。ファイルが存在しない場合は新規作成します。overwrite=tと同時に指定することはできません。
2. f: 追記を無効化します。既にファイルが存在する場合、クエリは失敗します。

**bom=BOOL**

ファイルヘッダーにBOM（Byte Order Mark）を付与するかどうか

1. t: BOMをファイルヘッダーに追加
2. f: BOMをファイルヘッダーに追加しない

**encoding=CHARSET**

文字列エンコーディング形式（デフォルト: utf-8）。次のドキュメントに登録されたPreferred MIME NameまたはAliasesを使用してください: <http://www.iana.org/assignments/character-sets/character-sets.xhtml>。

**flush=INT{y|mon|w|d|h|m|s}**

出力バッファをフラッシュするインターバル。単位はy（年）、mon（月）、w（週）、d（日）、h（時）、m（分）、s（秒）から選択できます。例えば、5秒ごとにバッファをフラッシュする場合は5sと指定します。

**overwrite=BOOL**

FILE\_PATHに既存ファイルがある場合の上書き制御オプション（デフォルト: f）

1. t: ファイルの上書きを有効化します。append=tと同時に指定することはできません。
2. f: ファイルの上書きを無効化します。既にファイルが存在する場合、クエリは失敗します。

**partition=BOOL**

FILE\_PATHのマクロ機能制御オプション（デフォルト: f）。partition=tの場合、FILE\_PATHにマクロを利用して時刻に応じてディレクトリやファイルパスを変更できます。

1. t: マクロを有効化
2. f: マクロを無効化

: 利用可能なマクロは{logtime:FMT}および{now:FMT}です。入力例は使用例3を参照してください。

1. {logtime:FMT}: ログ発生時刻を基準にディレクトリやファイル名を付与
2. {now:FMT}: 現在時刻を基準にディレクトリやファイル名を付与

パーティションオプションを指定し、パスにマクロを使用しない場合、クエリは失敗します。

**tmp=TMP\_FILE\_PATH**

一時ファイルパス。このオプションを指定すると、一時ファイルを作成してそのパスに出力し、クエリが正常終了した時点でFILE\_PATHに指定したパスへ移動します。

**FIELD, ...**

JSONファイルに出力するフィールドのリスト。フィールドの区切りにはカンマ（,）を使用します。フィールドを指定しない場合、すべてのフィールド値がJSONファイルに記録されます。

#### 使用例

output.jsonファイルにすべてのフィールドを記録

json "[ {'src\_ip':'192.0.2.1', 'dst\_ip':'198.51.100.1'}, {'src\_ip':'192.0.2.2', 'dst\_ip':'198.51.100.2'}, {'src\_ip':'192.0.2.3', 'dst\_ip':'198.51.100.3'}, {'src\_ip':'192.0.2.4', 'dst\_ip':'198.51.100.4'}, {'src\_ip':'192.0.2.5', 'dst\_ip':'198.51.100.5'}, {'src\_ip':'192.0.2.6', 'dst\_ip':'198.51.100.6'}, {'src\_ip':'192.0.2.7', 'dst\_ip':'198.51.100.7'}, {'src\_ip':'192.0.2.8', 'dst\_ip':'198.51.100.8'}, {'src\_ip':'192.0.2.9', 'dst\_ip':'198.51.100.9'}, {'src\_ip':'192.0.2.10', 'dst\_ip':'198.51.100.10'} ]" | outputjson /opt/logpresso/files/output.json

記録マクロを利用し、ログ発生年月日でディレクトリを指定し、現在時刻を基準にファイル名を生成してsrc\_ipおよびdst\_ipフィールド値を記録

json "[ {'src\_ip':'192.0.2.1', 'dst\_ip':'198.51.100.1'}, {'src\_ip':'192.0.2.2', 'dst\_ip':'198.51.100.2'}, {'src\_ip':'192.0.2.3', 'dst\_ip':'198.51.100.3'}, {'src\_ip':'192.0.2.4', 'dst\_ip':'198.51.100.4'}, {'src\_ip':'192.0.2.5', 'dst\_ip':'198.51.100.5'}, {'src\_ip':'192.0.2.6', 'dst\_ip':'198.51.100.6'}, {'src\_ip':'192.0.2.7', 'dst\_ip':'198.51.100.7'}, {'src\_ip':'192.0.2.8', 'dst\_ip':'198.51.100.8'}, {'src\_ip':'192.0.2.9', 'dst\_ip':'198.51.100.9'}, {'src\_ip':'192.0.2.10', 'dst\_ip':'198.51.100.10'} ]" | outputjson partition=t /opt/logpresso/files/{logtime:yyyy/MM/dd}/{now:HHmm}.json src\_ip, dst\_ip